資料－1

令和2年度の取組について

令和3年5月31日

国土交通省の取り組み

1）洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

芦田川水系河川整備計画の変更【令和2年度】

気候変動の影響による近年頻発化・激甚化する降雨状況を鑑み、芦田川水系における今後の治水対策の方向性を示す芦田川水系河川整備計画を変更し、治水目標を達成するための整備・対策を進めます。

主な整備予定箇所と実施内容

- ダム下流の浸水被害防止のため、より効果的なダム操作や有効活用方策などを検討します。

八田原ダム

芦④　中須地区

芦③　新市・芦田地区

芦②　御幸・郷分・駅家地区

- 河道掘削を行い、五ヶ村用水堰を改築し、整備目標流量を安全に流下させます。
- 堤防の整備により、洪水氾濫の防止に努めます。

芦⑤　土生・目崎・父石地区

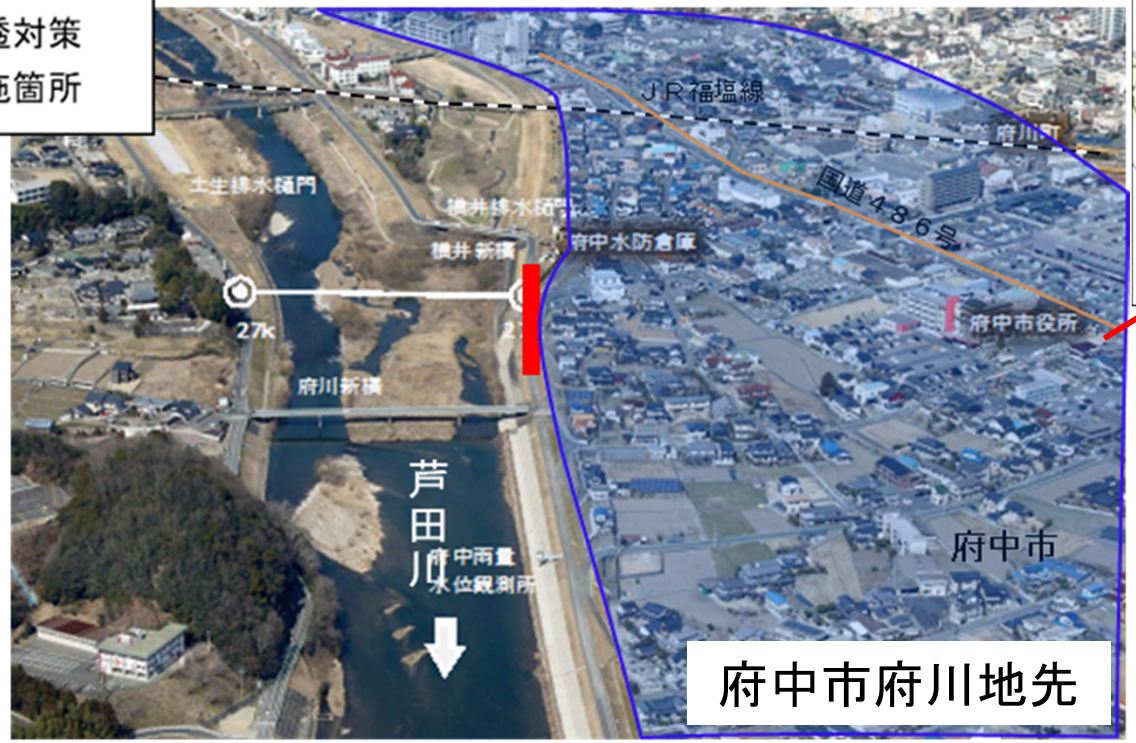
- 堤防の浸透対策、耐震対策が必要な箇所で、整備を実施します。

芦①　草戸・水呑地区

1）洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

浸透対策工事の実施【令和2年度】

凡例
浸透対策実施箇所

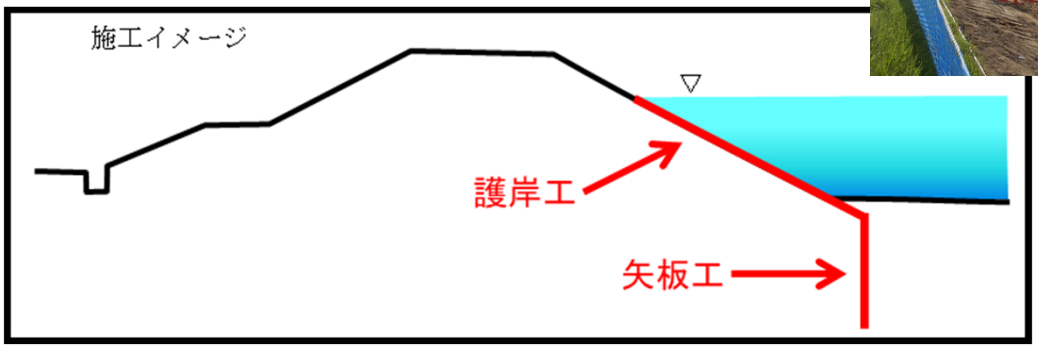


浸水想定区域

浸透対策について、高木・府川地区の一部、駅家地区、坊寺・近田地区の一部において実施。

矢板打設

氾濫発生の危険性が高い区間等において、堤防整備（浸透対策）を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



1）洪水氾濫を未然に防ぐ対策等

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure,Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

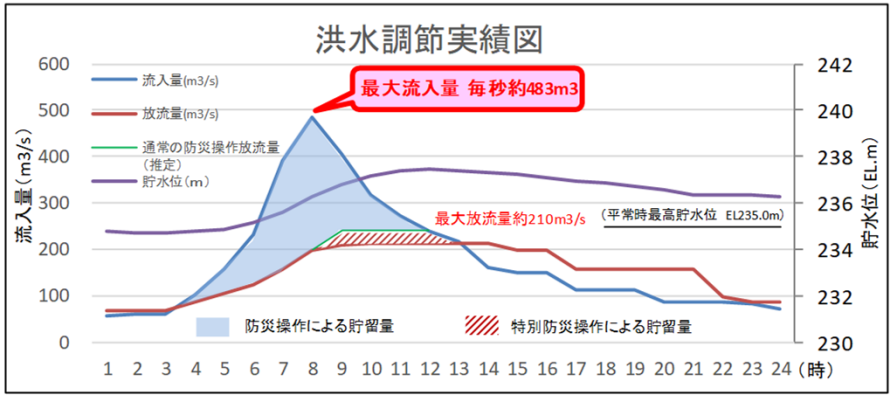
特別防災操作の実施【令和2年度】

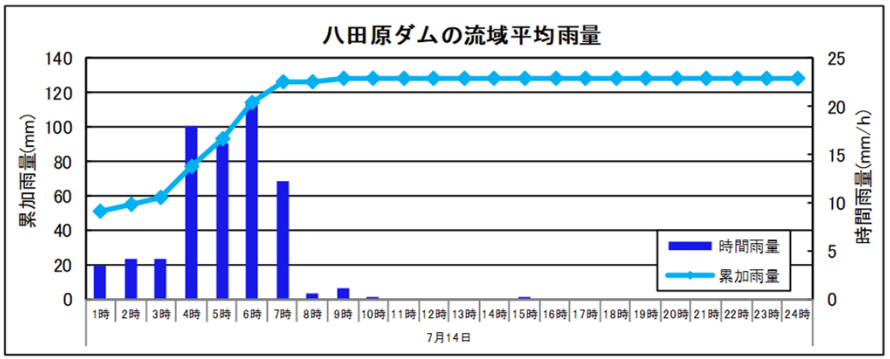
八田原ダムにおける防災操作及び特別防災操作による治水効果（令和2年7月14日　梅雨前線）

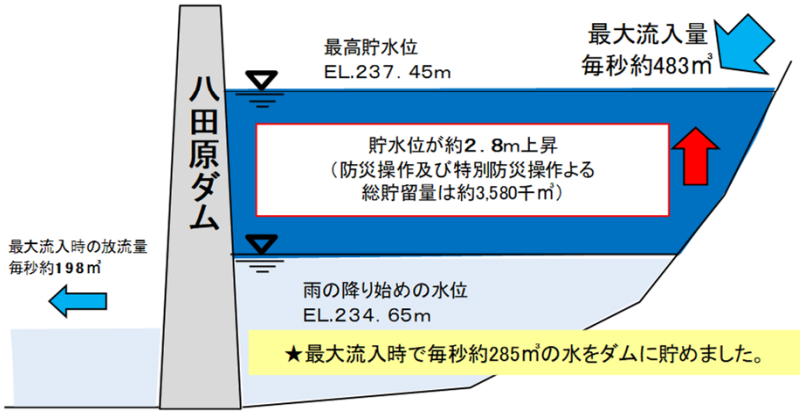
八田原ダム流域では、令和2年7月14日の明方から朝にかけて梅雨前線の影響により強い雨が降り、降り始めからの流域平均総雨量は128.3mmを記録しました。
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約483㎥に達しました。
これを受けて、八田原ダムにおいては「防災操作」及び「特別防災操作」※を行い、このうち、最大で毎秒約285㎥の水をダムに貯め込みました。
この結果、府中市父石町付近で水位を約0.9m低減する効果があったものと推定されます。

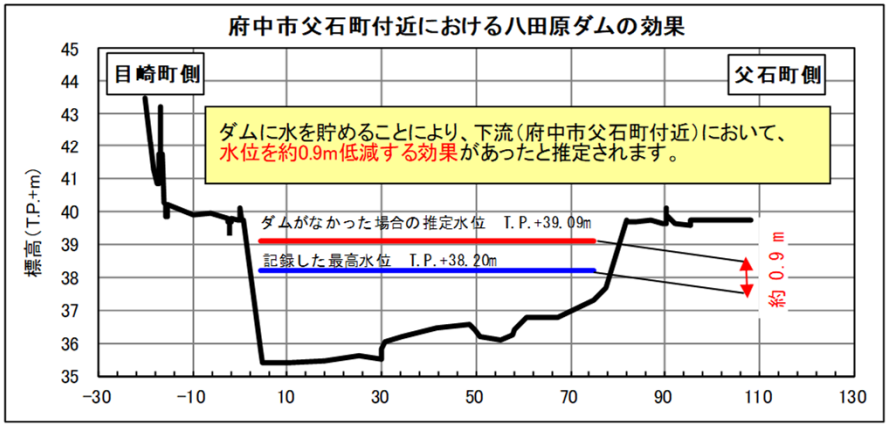
※特別防災操作：ダム下流の河川管理者や市町村等の要請を受け、更なる被害軽減を行うため、ダム下流河川の水位等の状況に応じ、今後の予測降雨量、ダムの残りの貯水容量等を勘案しながらダムの貯水容量を可能な限り有効活用し、放流量を通常よりも減じる操作

八田原ダム位置図









※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■排水計画（案）の作成および排水訓練の実施

災害対策用機械、排水機場の操作訓練の実施【令和2年度】

日　時　・　内　容　：

令和2年6月5日　　災害対策用機械（排水ポンプ車、照明車）の操作訓練

令和2年6月9日、10日　　排水機場の操作訓練

対　象　：　職員を含め、災害応急対策協定業者、排水機場の操作員など

照明車の操作訓練

排水機場の機器操作訓練

排水機場の操作による流水確認

排水ポンプ車の操作訓練

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

学校の防災教育に対する支援（出前授業）【令和2年度】

日　時：令和2年9月17日
参加者：56人（福山市立光小学校　5年生）
内　容：「洪水からいのちを守るために」というテーマで、洪水の
　　怖さや氾濫の形態、洪水に対する取組について紹介。
　　マイ・タイムラインの説明と教材の配布を実施。

地域防災活動に対する支援（出前講座）【令和2年度】

日　時：令和3年1月31日
参加者：約90人（駅家西学区自主防災組織）
内　容：「水害への心構えと河川整備について」と題して、過去の
　　河川災害や洪水を踏まえ、情報収集の方法や具体的な
　　防災活動への取組など、河川と水防活動について解説。

福山市の取り組み

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

福山市 Fukuyama City

■広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知等

広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知【令和2年度】

洪水ハザードマップの作成・配布（想定最大規模降雨）

現在地 トップページ > 担当部署で探す > 危機管理防災課 > 福山市洪水ハザードマップを更新しました

福山市洪水ハザードマップを更新しました

Tweet　印刷用ページを表示する　掲載日：2021年3月11日更新

福山市洪水ハザードマップの更新について

2015年の水防法改正に伴い，浸水想定の前提となる降雨量が，従来の河川整備の基本である「計画規模降雨」から，「想定最大規模降雨」に見直されたことから，河川管理者である国・県では，新たな洪水浸水想定区域図を作成しています。

これに伴い，本市では，国・県の新たな洪水浸水想定区域図を基に，2009年に作成した福山市洪水ハザードマップを更新しました。

ハザードマップにより自宅付近の危険な状況を確認し，必要な避難行動や避難場所，避難経路，非常持ち出し品などを確認しておきましょう。

2021年（令和3年）2月改訂　福山市

※　**想定最大規模降雨・・・想定しうる最大規模の降雨で発生確率は，1,000年以上に1度**

芦田川の場合　24時間総雨量：572mm

北部版

【北部版】地図面［PDFファイル］

【北部版】情報面［PDFファイル］

【北部版】分割拡大版（４１分割）

南部版

【南部版】地図面［PDFファイル］

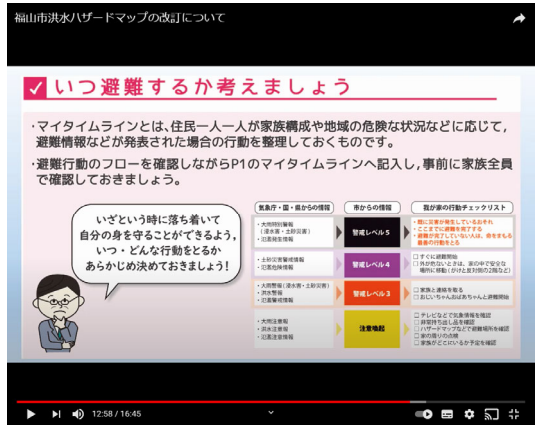
【南部版】情報面［PDFファイル］

【南部版】分割拡大版（３７分割）

動画はこちらから

福山市洪水ハザードマップの更新について（福山市公式Youtube）

動画によるハザードマップ解説



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

福山市 Fukuyama City

■防災教育や防災知識の普及

ライフライン防災教室の実施

2017年度より，市内の小学生を対象に，災害時に役立つ知識を習得し，防災意識を高めてもらうため，市内のライフラインを担う4事業者（福山市上下水道局，福山ガス㈱，西日本電信電話㈱，中国電力ネットワーク㈱）が合同で実施しています。

【2020年度実施】
光小学校　（5年生：約70名）　10月　6日（火）
宜山小学校　（6年生：約60名）　11月　9日（月）

＜実施校＞

2017年　多治米小学校
2018年　曙小学校
2019年　山手小学校，瀬戸小学校

2)②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

関係機関が連携した水防訓練の実施【令和2年度】

①土のう作成

②ジャッキを利用した重量物排除

③防災ヘリとの連携

2)②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

福山市 Fukuyama City

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築【令和2年度】

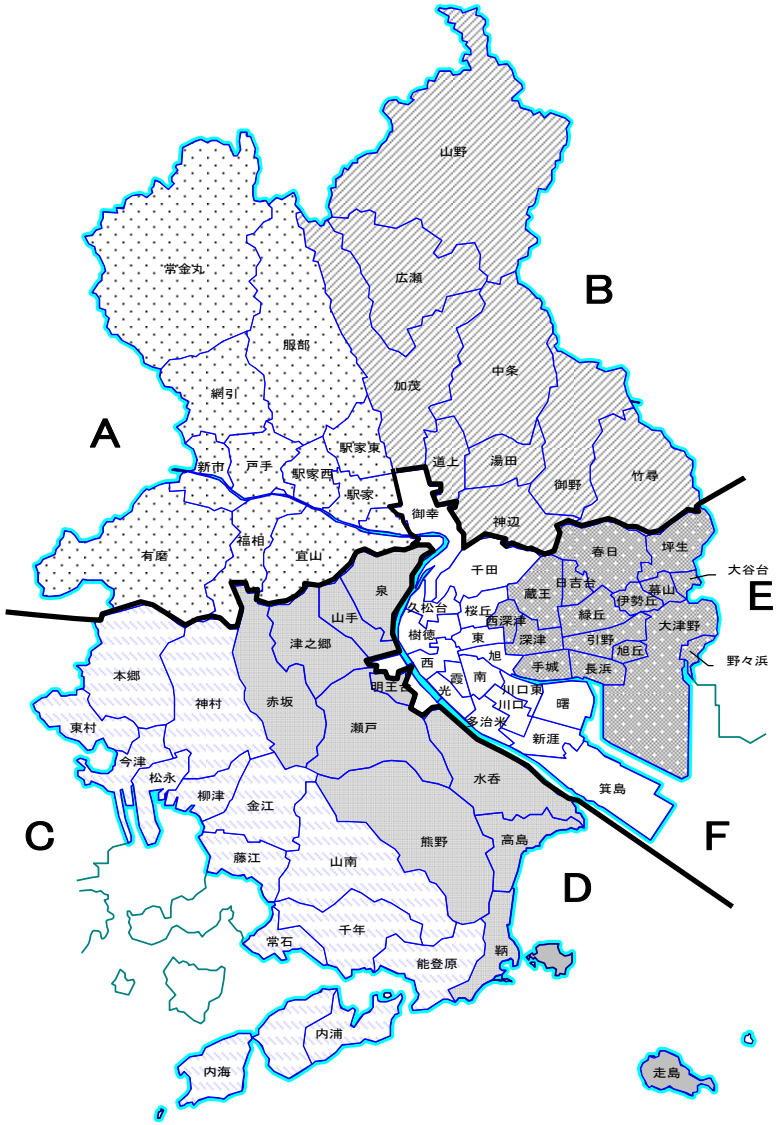
「福山市建設工事等競争入札参加資格者（建設工事）」を対象として，災害応急対策に係る協力事業者を定期的に公募し，登録を行った。　※制度創設…2011年度（平成23年度）

●登録事業者の責務

- 市からの依頼を受け，速やかに災害応急対策工事を実施
- 災害が発生した場合（発生のおそれがある場合）の情報収集・通報
- 自主防災組織等と連携し，地域の防災体制の確立に協力

●登録事業者数（2021年（令和3年）4月1日現在）

地域区分	小学校区等名	登録事業者数
A地域	駅家，駅家北，駅家西，宜山，有磨，福相，常金丸，網引，新市，戸手	23
B地域	加茂，広瀬，山野，神辺，竹尋，御野，湯田，中条，道上	22
C地域	神村，本郷，遺芳丘，松永，柳津，金江，藤江，能登原，千年，常石，山南，内浦，内海	28
D地域	泉，山手，津之郷，赤坂，瀬戸，熊野，水呑，高島，鞆の浦学園，走島，明王台	23
E地域	手城，深津，引野，蔵王，大津野，坪生，春日，伊勢丘，旭丘，緑丘，長浜，　西深津，野々浜，日吉台，幕山，大谷台	32
F地域	東，西，南，霞，川口，樹徳，旭，光，千田，御幸，箕島，曙，新涯，多治米，　桜丘，久松台，川口東	61
合　　計		189



府中市の取り組み

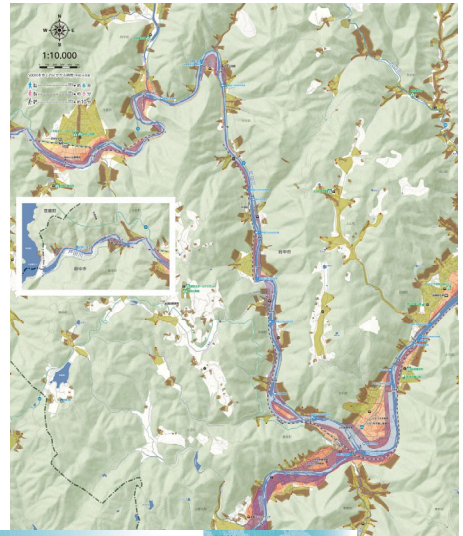
2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

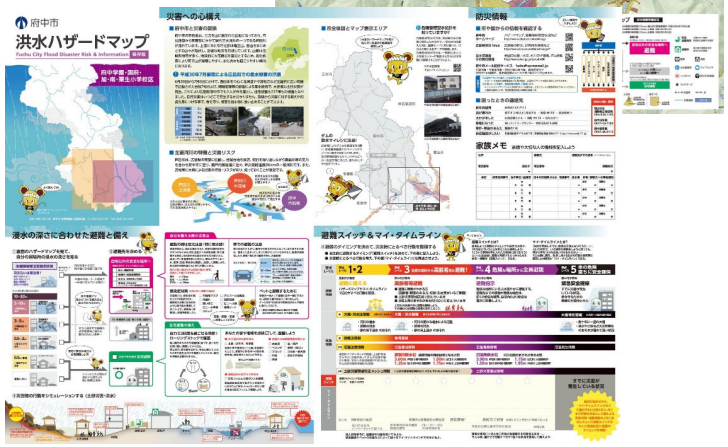
広島県 府中市

■広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知等

広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知【令和2年度】

○想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成
住民説明会の実施及び市民への配布やHPへの掲載により周知





洪水ハザードマップ住民説明会
町内会役員や防災リーダーを対象に、ハザードマップの見方や使い方を説明
約140人が参加

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

広島県 府中市

【防災教育や防災知識の普及】

防災リーダー研修【令和2年度】

日　時：令和2年10月24日
参加者：50人
内　容：防災リーダーのスキルアップを図ることで地域防災力の強化を目的に、自主防災組織の活動紹介、避難所運営についての研修を実施

水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催【令和2年度】

〇地域でのいきいきサロンで出前講座を実施
日時：令和2年10月5日、令和3年2月15日

〇広島県と連携した避難の呼びかけ体制づくりセミナー及び災害図上訓練、避難の呼びかけ体制づくりワークショップの実施
・避難の呼びかけ体制づくりセミナー
日時：令和2年11月14日
　自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築のため、自主防災組織の避難の呼びかけの重要性の説明などを実施。

・災害図上訓練、避難の呼びかけ体制づくりワークショップ
日時：令和2年10月18日、25日

内容：災害図上訓練及び避難の呼びかけ体制づくりワークショップを実施し、地域の災害リスクの認識や呼びかけ体制を構築してもらうことで自主防災組織の機能強化を図るために実施。

学校の防災教育に対する支援【令和2年度】

日時：令和2年8月21日

内容：府中学園4年生100人に、ハザードマップの使い方や災害時の対応など防災についての出前授業を実施

マイ・タイムラインの作成支援【令和2年度】

防災リーダーと連携して地域へのマイ・タイムラインの普及を行うため、国土交通省福山河川国道事務所と協力して、防災リーダーを対象にマイ・タイムライン研修会を開催。
日時：令和3年3月13日
参加者：37人
内容：防災リーダー自身がマイ・タイムラインを作成するとともに、地域でマイ・タイムラインを普及する際のポイント等についてもレクチャー。

2)③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

広島県 府中市

排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施【令和2年度実施】

〇府中市域の浸水対策の検討（府中市浸水対策検討委員会）

・平成30年7月豪雨により、内水浸水被害が生じた区域について、発生原因を分析し、対策のあり方を検討。

検討結果（今後の取組・方向性）

- 中須排水区流末排水樋門の整備
  →排水樋門の操作マニュアルの策定、水位計・監視カメラ・水位板設置、遠隔操作システム導入検討

- 強制排水機能の整備
  →樋門操作と連動した緊急対策ポンプの操作マニュアルの策定、雨水排水ポンプ場の新規整備

- 地盤
  →止水板設置補助、住宅嵩上げ補助開始、家屋等の床の高さ等の基準の制定や誘導の制度化

- 貯留施設（貯水機能）
  →農地の保全・活用策、雨水排水路の流速緩和策手法の検討

- 芦田川右岸側地域への対応
  →可搬型小型ポンプの保管・据付場所の選定、緊急即応体制等の整備

広島県の取り組み

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

広島県

■防災教育や防災知識の普及

水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催【令和2年度】
学校の防災教育に対する支援【令和2年度】

災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ，災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに，未来の防災リーダーの育成を目標として，主に小中学生及びその保護者を対象に出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数） ※小中学校の他，自主防災会等を対象に2回実施

	小学校	中学校	合計
H29年度	4校	1校	5校
H30年度	7校	2校	9校
R元年度	9校	3校	12校
R2年度	5校	1校	6校

気象庁の取り組み

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

広島地方気象台

■防災教育や防災知識の普及

水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催【令和2年度】

感染症拡大防止策を気にせず学べるeラーニング教材「大雨の時にどう逃げる」を、令和2年5月気象庁ホームページに公開。
令和3年5月には災害対策基本法の改正にも対応します。

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

監修：防災教育学会会長　諏訪清二先生

あなたの命、あなたの大切な人の命を守るため

台風･豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学びます

教材の特徴

- ○教材は、すべて気象庁ホームページで公開しています。好きな時間・ペースで学べます。
  ※動画教材は、YouTube でも公開しています。
- ○他人と接触せず学べる教材です。感染症拡大防止策を気にする必要はありません。
  WEB会議の開催・参加の方法を説明した参考資料も添付しています。
  ※みんなで集まって一緒に行うことも可能です。その場合は、三密を避ける方法で実施してください。
- ○専門家や経験者がいなくても、学習の進め方を解説する資料に沿って進められます。
- ○人数や実施形式に決まりはありません。難しく考えず、気楽にはじめてください。

【学習の流れ】動画教材で身につけた知識を、実習や意見交換で、いざという時に使えるようにしてゆきます

自らの命は自らが守る 基本的な知識を学ぶ → 自宅の災害リスク 自分の避難行動を整理 → 思い込みによる誤解や 疑問･不安を解消

動画教材を視聴（約15分×動画５つ）

学習する5つのステップ

- Ⅰ 避難を行うための ポイントを理解しよう
- Ⅱ あなたの家の 災害リスクを知ろう
- Ⅲ 大雨の時の避難先
- Ⅳ「避難行動」を考えよう
- Ⅴ あなたの避難の タイミングを考えよう

ワークシートに記入（概ね30分）

←ワークシート フローチャートに沿って、自分の避難行動を整理

自宅のある↓ハザードマップ

みんなと意見交換（概ね30～40分）

← WEB会議を使って意見交換できるよう、使い方の参考資料も付属

学んだことをぜひ、周囲の人へ広めてください

アドレス：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

広島地方気象台

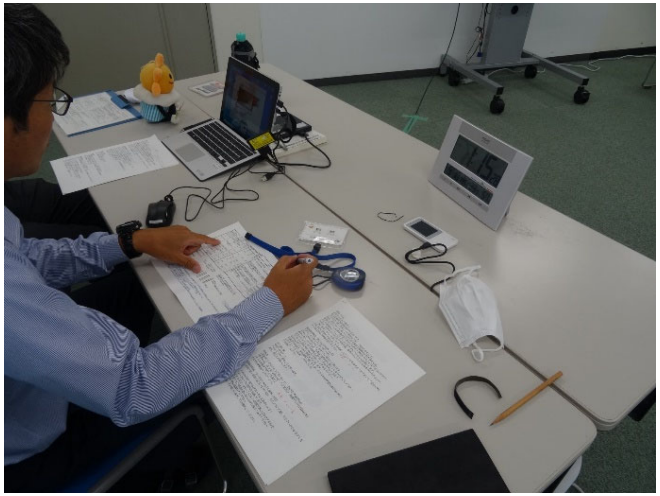
■防災教育や防災知識の普及

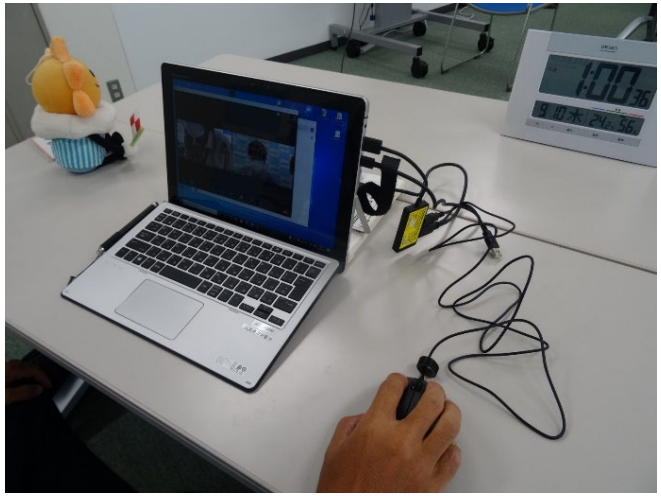
学校の防災教育に対する支援【令和2年度】

○Web会議を用いた防災教育の実施

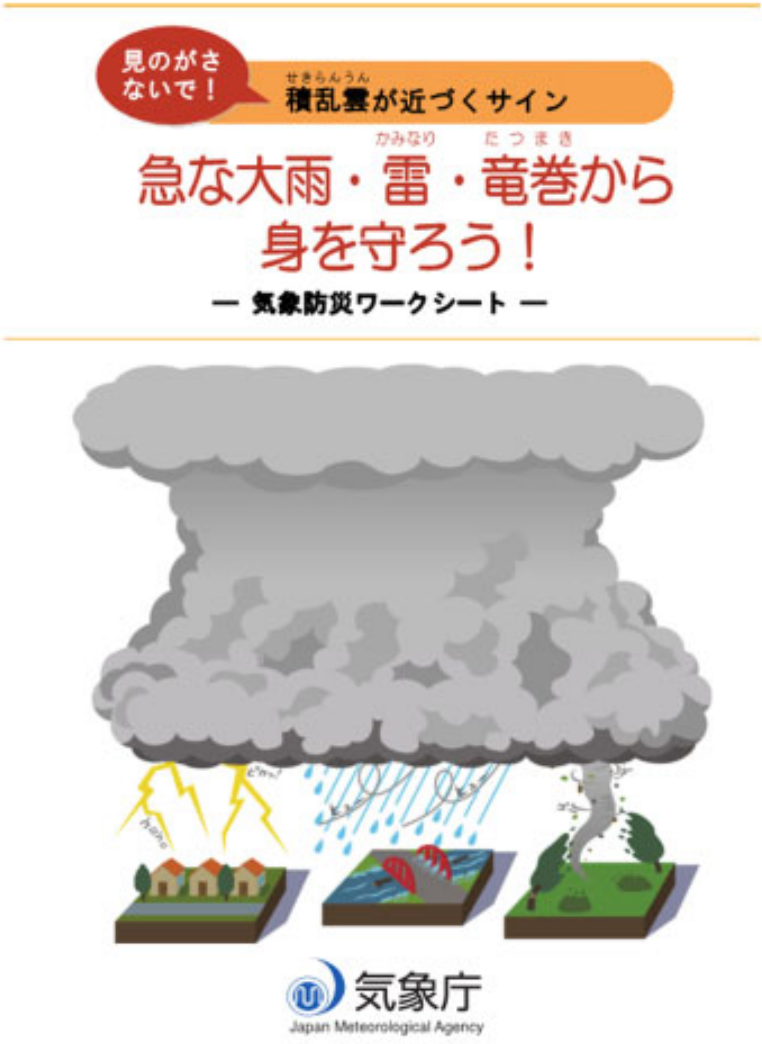
・福山市立光小学校

実　施　日：令和2年9月10日（木）
実施場所：広島地方気象台会議室～光小学校5年各教室
実施内容：減災協議会事務局を通じ出前講座の依頼された。
　　新型コロナ感染防止対策に鑑み、直接出向くのでは
　　なく、Web会議形式で実施することを提案。
　　学校側の了解を得てオンラインで実施。





気象台会議室から学校側へ接続して実施



2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

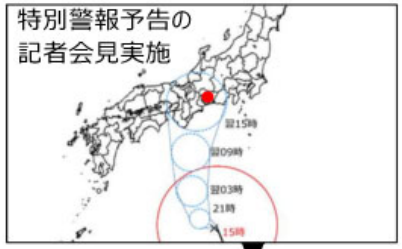
広島地方気象台

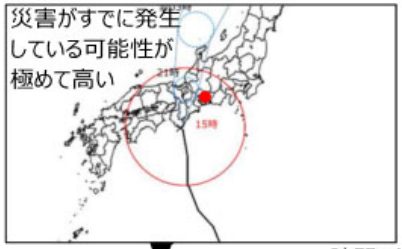
■防災教育や防災知識の普及

防災気象情報の改善【令和2年度】

大雨特別警報と警戒レベルの関係の改善

- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするもの※を見直し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い（警戒レベル5相当の）雨を要因とするもののみとする。※台風等の中心気圧や最大風速の発表基準によるもの
- 伊勢湾台風級の台風が上陸するおそれがある場合には、早い段階から記者会見等を開催するとともに、24時間程度前に開催する記者会見において、台風の接近時の暴風や大雨等による災害に対して極めて厳重な警戒が必要であることを呼びかける。





時間の流れ

警戒レベル（●の地点）	レベル１	レベル２	レベル３相当	レベル４相当	レベル５相当
現行	早期注意情報	大雨注意報 氾濫注意情報	台風等を要因とする大雨特別警報 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
改善後	早期注意情報	大雨注意報 氾濫注意情報	大雨警報 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	大雨特別警報 氾濫発生情報

台風等を要因とする大雨特別警報は発表しない

2)①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

広島地方気象台

■防災教育や防災知識の普及

防災気象情報の改善【令和2年度】

気象等特別警報の基準（変更点）

台風等を要因とする大雨特別警報は発表しない

	現象	特別警報の基準		
現行	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、		雨を要因とする特別警報の指標
		若しくは、		
		数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合		台風等を要因とする特別警報の指標
	暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	
	高潮		高潮になると予想される場合	
	波浪		高波になると予想される場合	
	暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
	大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		雪を要因とする特別警報の指標
改善後	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合		雨を要因とする特別警報の指標
	暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合	台風等を要因とする特別警報の指標
	高潮		高潮になると予想される場合	
	波浪		高波になると予想される場合	
	暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
	大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合		雪を要因とする特別警報の指標

台風等を要因とする特別警報の指標（発表条件）

「伊勢湾台風」級（中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上）の台風や同程度の温帯低気圧が来襲する場合に特別警報を発表。ただし、沖縄地方、奄美地方及び小笠原諸島については、中心気圧910hPa以下又は最大風速60m/s以上とする。